

(第1-1号様式)

様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 9月 4日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県五條市西吉野町和田415-12

氏 名 畠山建設 株式会社  
代表取締役 畠山 龍晃

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0747-32-0104

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	畠山建設 株式会社
事業場の所在地	奈良県五條市西吉野町和田415-12
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 31,292万円
③ 従業員数	9人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(建設工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生碎石として資源化 木くず→再生処理業者に委託し、肥料として再資源化 金属くず→再生処理業者に委託し、再生資源化 廃プラスチック類→優良認定処理業者に委託し、選別・処理

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項																								
(管理体制図)																								
<p>産業廃棄物処理統括責任者</p> <p>↓</p> <p>産業廃棄物処理担当者</p> <p>↓</p> <p>各工事現場責任者 (現場代理人・監理技術者・主任技術者)</p>																								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr> <tr> <td>排出量</td><td>2,040.87 t</td><td>4.61 t</td></tr> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td></td></tr> <tr> <td>排出量</td><td>0.00 t</td><td>t</td></tr> <tr> <td colspan="3">(これまでに実施した取組)</td></tr> <tr> <td colspan="3">構造物撤去時における計測精度並びに破碎技術の向上により、排出量を設計比+5%以内に収まるよう努めた。</td></tr> </tbody> </table>				【前年度（令和6年度）実績】			産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	排出量	2,040.87 t	4.61 t	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		排出量	0.00 t	t	(これまでに実施した取組)			構造物撤去時における計測精度並びに破碎技術の向上により、排出量を設計比+5%以内に収まるよう努めた。		
【前年度（令和6年度）実績】																								
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず																						
排出量	2,040.87 t	4.61 t																						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類																							
排出量	0.00 t	t																						
(これまでに実施した取組)																								
構造物撤去時における計測精度並びに破碎技術の向上により、排出量を設計比+5%以内に収まるよう努めた。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">【目標】</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr> <tr> <td>排出量</td><td>2500 t</td><td>20 t</td></tr> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>—</td></tr> <tr> <td>排出量</td><td>5 t</td><td>— t</td></tr> <tr> <td colspan="3">(今後実施する予定の取組)</td></tr> <tr> <td colspan="3">構造物撤去時における計測精度並びに破碎技術をより向上させ、排出量を設計比+3%以内に収まるよう緻密な施工に努める。</td></tr> </tbody> </table>				【目標】			産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	排出量	2500 t	20 t	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—	排出量	5 t	— t	(今後実施する予定の取組)			構造物撤去時における計測精度並びに破碎技術をより向上させ、排出量を設計比+3%以内に収まるよう緻密な施工に努める。		
【目標】																								
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず																						
排出量	2500 t	20 t																						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—																						
排出量	5 t	— t																						
(今後実施する予定の取組)																								
構造物撤去時における計測精度並びに破碎技術をより向上させ、排出量を設計比+3%以内に収まるよう緻密な施工に努める。																								
産業廃棄物の分別に関する事項																								
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>①現状</td><td>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、廃プラスチック類はそれぞれに分別・保管している。</td></tr> <tr> <td>②計画</td><td>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、廃プラスチック類はそれぞれに分別・保管する。</td></tr> </tbody> </table>				①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、廃プラスチック類はそれぞれに分別・保管している。	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、廃プラスチック類はそれぞれに分別・保管する。																	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、廃プラスチック類はそれぞれに分別・保管している。																							
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、廃プラスチック類はそれぞれに分別・保管する。																							

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】					
①現状	産業廃棄物の種類	—	—		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t		
(これまでに実施した取組)					
—					
【目標】					
②計画	産業廃棄物の種類	—	—		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t		
(今後実施する予定の取組)					
—					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
【前年度（令和 6 年度）実績】					
①現状	産業廃棄物の種類	—	—		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t		
②計画	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t		
	(これまでに実施した取組)				
—					
【目標】					
②計画	産業廃棄物の種類	—	—		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t		
②計画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t		
	(今後実施する予定の取組)				
—					

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	
(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
全処理委託量	2,040.87 t	4.61 t	
優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t	
再生利用業者への処理委託量	2,040.87 t	4.61 t	
認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—	
全処理委託量	— t	— t	
優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t	
再生利用業者への処理委託量	— t	— t	
認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	
(これまでに実施した取組)			
可能な限り再生利用業者への処理を行い、最終処分量の低減を図る。			

【目標】		
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
全処理委託量	2500 t	20 t
優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
再生利用業者への処理委託量	2500 t	20 t
認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—
全処理委託量	5 t	— t
優良認定処理業者への処理委託量	5 t	— t
再生利用業者への処理委託量	— t	— t
認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)		
再資源化において高率化の事業者を選定する。 優良処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実施確認をする。		
※事務処理欄		